

「認知症にやさしいトイレサイン」導入効果総合検証レポート
単一施設前後比較に基づく実証評価

株式会社メディヴァ
グループリーダー
木内大介

2026年3月16日

実証目的：「排泄」に関わる尊厳の保護と、現場スタッフの恒常的な誘導負担の解消を両立する



課題の核心

トイレ誘導は日常業務である一方、入居者にとっては「自力で行けない」という自尊心低下のリスクを孕む。

解決へのアプローチ

視覚的なサイン（目印）の導入により、「自立支援」と「負担軽減」の同時達成を目指す。

介入前後およびJIS規格との比較を通じ、デザインの有効性を多角的に検証する

期間1：既存サイン

期間2：認知症サイン

期間3：JIS規格サイン

〔定量評価〕 行動観察記録



共有スペース・居室における
誘導回数と誤入室回数の測定

〔定性評価〕 スタッフアンケート



負担感、効果実感、
自由記述コメントの収集

検証形式

- ・ 単一施設前後比較デザイン（対象：介護付有料老人ホームヴィラ梅光）

対象者

- ・ トイレ場所の認識に課題があるが、自力または軽介助で歩行可能な認知症高齢者
- ・ 対象入居者のケアを日常的に担当する介護スタッフ

分析手法

- ・ 共有スペース・居室での行動観察（定量）と、スタッフアンケート（定性） のクロス分析

01

定量成果

共有スペースにおける「トイレ誘導・相談回数」が約37%の大幅減少。自力でのトイレ到達度が向上した。

02

比較優位性

認知症の人にもやさしいサインは、標準化されたJISサインよりも、「トイレ誘導・相談回数」が少なく、直感的に理解されやすく、誤認識や混乱を防ぐ効果が高い可能性を示唆。

03

定性評価

劇的な業務負担減には至らないものの、約89%のスタッフが「サインの継続・改良」を希望。現場における高い価値を証明。

認知症サインの導入により、共有スペースでのトイレ誘導・声かけ回数が約37%減少



誘導回数の推移： 19.0回/日→12.0回/日（約37%減）

自力到達度の変化： スタッフ評価において、介入前「0～20%」から、期間3では「20～40%」の割合へと増加。サインが自立的な移動の確かな「道標」として機能し始めたことを示唆。

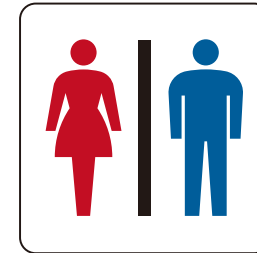
抽象的な標準記号（JIS）よりも、直感的で具象的なデザインが高度なアフォーダンスを発揮する

認知症の人にもやさしいサイン

JISサイン



トイレ



トイレ

誘導：12.0回/日

誘導：15.4回/日

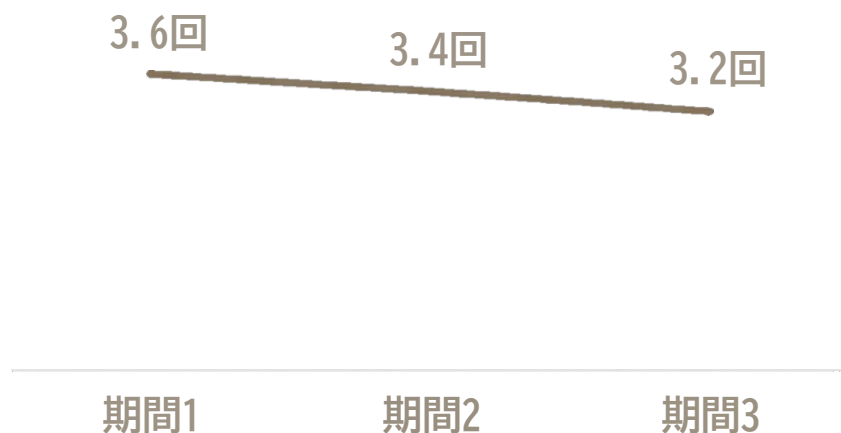
スタッフの声：「イラストを見て『ああ、あそこね』とすぐ理解できた」。「チラッチラッとマークを見ながら入られる姿が見られた」。直感的な理解

スタッフの声：「左のドアが男性用、右のドアが女性用と勘違いされた」
抽象記号による意図せぬ解釈

結論：具象的デザインが認知機能低下者に対して『そこがトイレである』という認識を促す

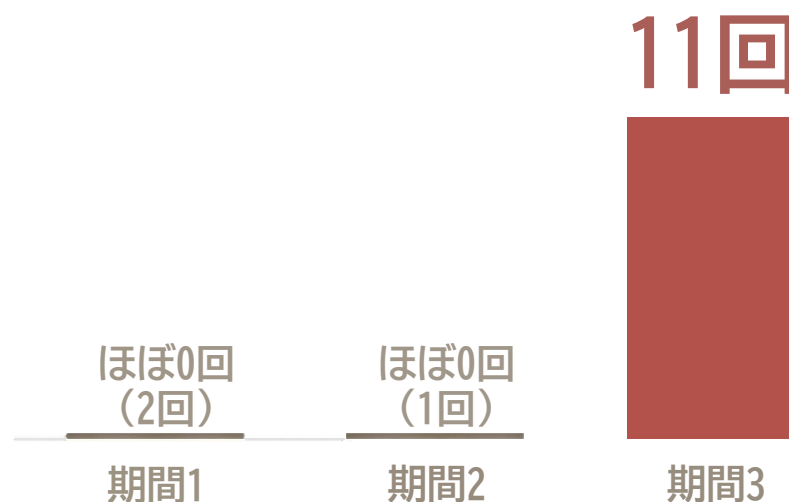
夜間帯における視覚介入の効果は限定的

夜間帯の1日平均誘導回数推移（居室）



夜間は定時誘導や暗所での見守りが必要なため、視覚サインによる行動変容が起きにくい領域である

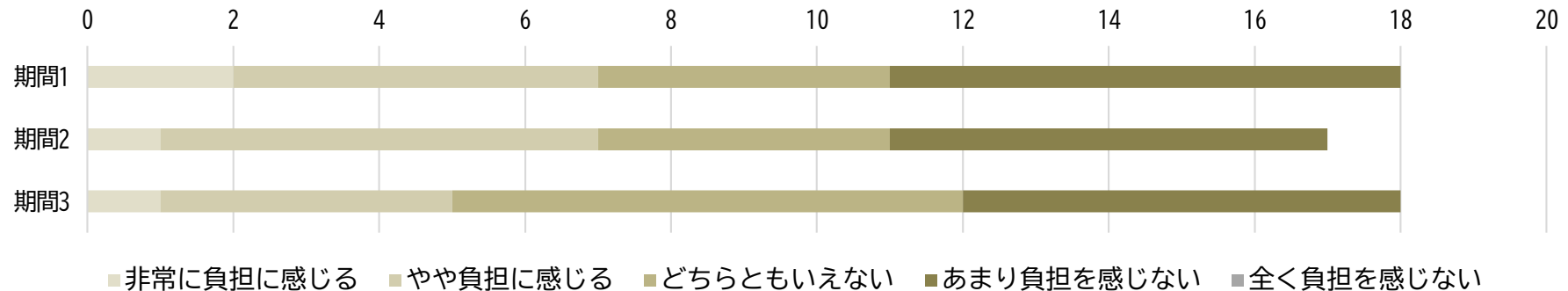
誤入室回数の推移（居室）



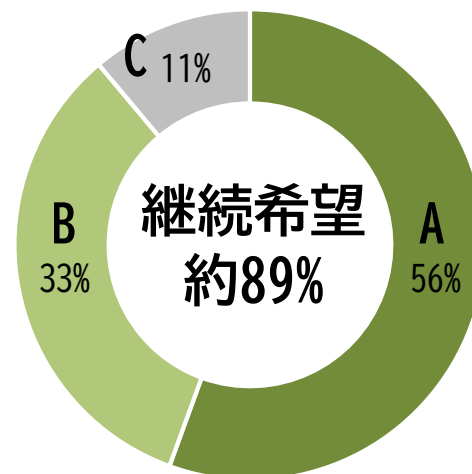
JISサインへ変更した期間3で、突発的に誤入室（11回）が発生。当事者の状況の変化が一時的な混乱を引き起こした可能性あり

物理的な負担感の劇的な低下には至らないものの、約9割のスタッフがサインの価値を認め、継続利用を希望している

負担の推移 全期間を通じ「あまり感じない」～「やや感じる」の間で推移し、数値上の劇的な負担軽減は確認できず。



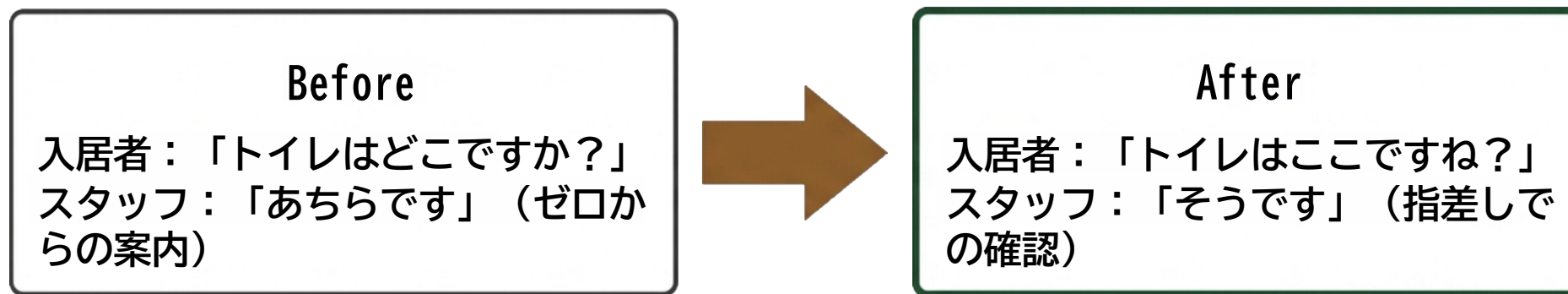
今後のサイン利用意向 回答者18名中16名が継続を希望



- A. そのまま継続して使用したい（現状のデザインで問題なく、効果も感じるため）
- B. デザインや場所を改良して使用したい（必要性は感じるが、修正が必要なため）
- C. 元に戻したい（撤去したい）（効果を感じない、または邪魔になるため）

示唆：負担感の数値には表れない『価値』を現場が感じ取っている。

「トイレはどこ？」から「ここですね」へ。案内コストの削減が入居者の自尊心保護に直結する

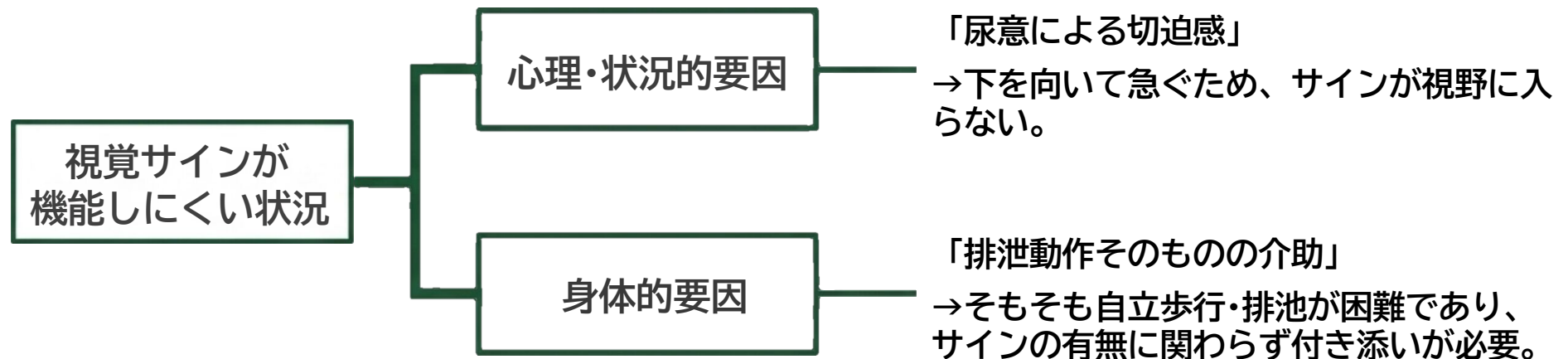


現場の定性評価：「案内するひと手間が減った」

「チラチラとマークを見ながら入られる姿があり、認識しやすい」

デザインの価値：軽微なコミュニケーションコストの削減だけでなく、入居者自身が「自分で場所を見つけられる」ことが、尊厳と自信を保つ（自立支援）上で重要な意味を持つ。

切迫時の視野狭窄や根本的な身体介助の必要性など、
視覚サインのみでは解決できない課題の構造



現場の声：

「自立している方はサインがなくても行ける」

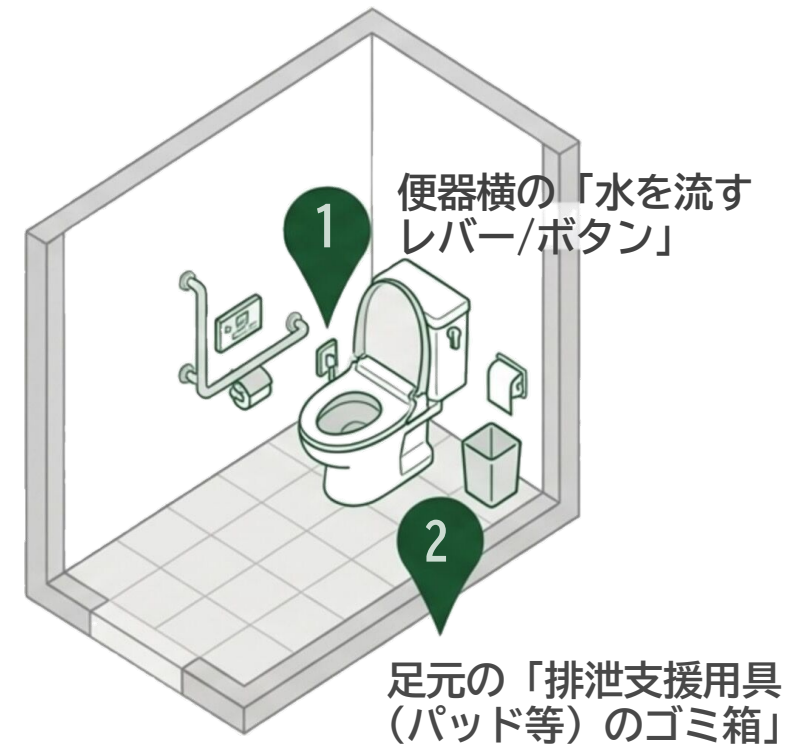
「重度の方には結局付き添いが必要」

考察：

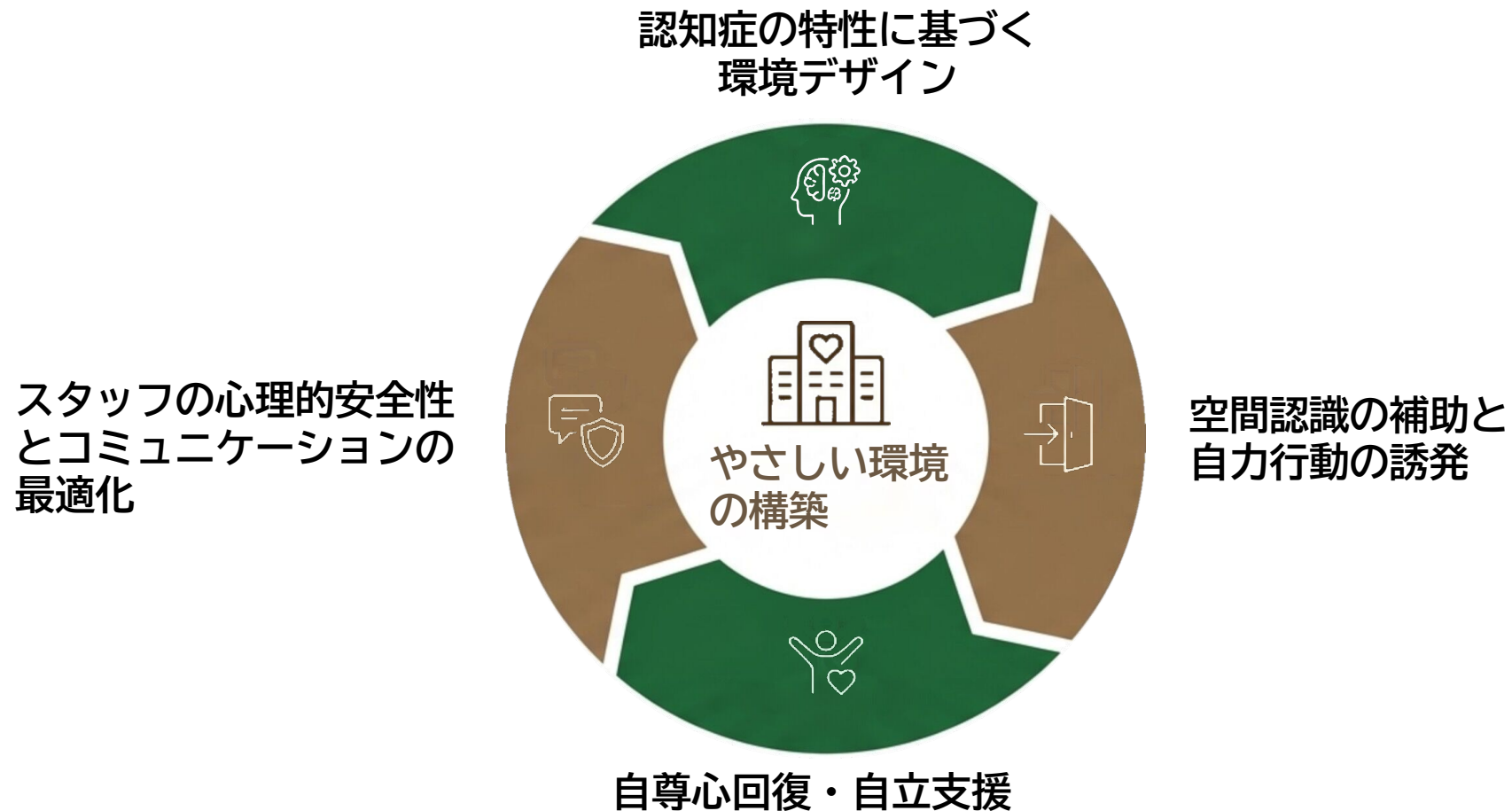
ドアのサイン（場所の案内） だけでは、介護現場のすべての負担を取り除くことはできないという現実。

入り口の「場所の案内」から、トイレ空間内における「行動の支援」へデザインを拡張する

- **実証済みの価値：**
ドアサインによる「空間認識・場所の発見」は成功を収めた。
- **今後の展開（現場からの要望）：**
トイレ内に入った後の「行動プロセス（流す・捨てる）」を支援するプロセス単位のサイン化。
- **期待される効果：**
排泄介助時のスタッフの直接的な物理的負担の軽減に直結。



認知症への理解とデザインの融合は、空間全体を「誰もが自立できる、やさしい環境」へと進化させる強力な投資である



認知機能が低下しても「自分でできる」環境をデザインの力で整える。

(参考) 調査結果のまとめ - 行動観察記録

共用ルーム：

時期1（設置前）

日付	①誘導・相談	②誤入室	③到達度
12月8日	17回	0回	0~20%
12月9日	18回	0回	0~20%
12月10日	17回	0回	0~20%
12月11日	20回	0回	0~20%
12月12日	18回	0回	0~20%
12月13日	18回	0回	0~20%
12月14日	20回	0回	0~20%
12月15日	20回	0回	0~20%
12月16日	20回	0回	0~20%
12月17日	19回	0回	0~20%
12月18日	20回	0回	0~20%
12月19日	19回	0回	0~20%
12月20日	20回	0回	0~20%
12月21日	20回	0回	0~20%

時期2（認知症サイン設置後）

日付	①誘導・相談	②誤入室	③到達度
1月19日	13回	0回	0~20%
1月20日	7回	0回	0~20%
1月21日	9回	0回	0~20%
1月22日	9回	0回	未記入
1月23日	13回	0回	0~20%
1月24日	12回	0回	未記入
1月25日	13回	0回	20~40%
1月26日	11回	0回	20~40%
1月27日	16回	0回	0~20%
1月28日	11回	0回	20~40%
1月29日	13回	0回	20~40%
1月30日	13回	0回	20~40%
1月31日	14回	0回	20~40%
2月1日	14回	0回	20~40%

時期3（JISサイン設置後）

日付	①誘導・相談	②誤入室	③到達度
2月9日	14回	0回	20~40%
2月10日	14回	0回	未記入
2月11日	25回	0回	20~40%
2月12日	20回	0回	未記入
2月13日	17回	0回	未記入
2月14日	10回	0回	未記入
2月15日	17回	0回	20~40%
2月16日	18回	0回	未記入
2月17日	13回	0回	20~40%
2月18日	17回	1回	未記入
2月19日	13回	0回	0~20%
2月20日	9回	0回	20~40%
2月21日	11回	0回	20~40%
2月22日	17回	0回	20~40%

居室：

時期1（設置前）

日付	勤務帯	①誘導・相談	②誤入室	③到達度
12月8日	早番・日勤	3回	0回	100%
	遅番・夜勤	5回	1回	25%
12月9日	早番・日勤	3回	0回	100%
	遅番・夜勤	3回	0回	100%
12月10日	早番・日勤	0回	0回	100%
	遅番・夜勤	1回	0回	100%
12月11日	早番・日勤	2回	0回	100%
	遅番・夜勤	6回	0回	100%
12月12日	早番・日勤	1回	0回	100%
	遅番・夜勤	3回	0回	100%
12月13日	早番・日勤	1回	0回	100%
	遅番・夜勤	3回	0回	100%
12月14日	早番・日勤	1回	0回	100%
	遅番・夜勤	2回	0回	100%
12月15日	早番・日勤	0回	0回	100%
	遅番・夜勤	5回	0回	100%
12月16日	早番・日勤	1回	0回	100%
	遅番・夜勤	3回	0回	100%
12月17日	早番・日勤	1回	0回	100%
	遅番・夜勤	4回	1回	25%
12月18日	早番・日勤	0回	0回	100%
	遅番・夜勤	4回	0回	100%
12月19日	早番・日勤	0回	0回	100%
	遅番・夜勤	5回	0回	100%
12月20日	早番・日勤	0回	0回	100%
	遅番・夜勤	3回	0回	100%
12月21日	早番・日勤	0回	0回	100%
	遅番・夜勤	3回	0回	100%

時期2（認知症サイン設置後）

日付	勤務帯	①誘導・相談	②誤入室	③到達度
1月19日	早番・日勤	2回	0回	0%
	遅番・夜勤	4回	0回	75%
1月20日	早番・日勤	1回	0回	0%
	遅番・夜勤	5回	0回	0%
1月21日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	3回	0回	50%
1月22日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	6回	0回	未記入
1月23日	早番・日勤	4回	0回	0%
	遅番・夜勤	1回	0回	未記入
1月24日	早番・日勤	5回	0回	未記入
	遅番・夜勤	3回	0回	未記入
1月25日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	3回	1回	50%
1月26日	早番・日勤	1回	0回	未記入
	遅番・夜勤	4回	0回	未記入
1月27日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	4回	0回	未記入
1月28日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	2回	0回	未記入
1月29日	早番・日勤	1回	0回	未記入
	遅番・夜勤	4回	0回	未記入
1月30日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	4回	0回	未記入
1月31日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	2回	0回	未記入
2月1日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	2回	0回	未記入

時期3（JISサイン設置後）

日付	勤務帯	①誘導・相談	②誤入室	③到達度
2月9日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	5回	0回	未記入
2月10日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	2回	4回	未記入
2月11日	早番・日勤	1回	0回	未記入
	遅番・夜勤	3回	3回	未記入
2月12日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	2回	0回	0%
2月13日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	4回	0回	未記入
2月14日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	4回	0回	未記入
2月15日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	4回	0回	0%
2月16日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	2回	0回	未記入
2月17日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	4回	0回	未記入
2月18日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	2回	0回	未記入
2月19日	早番・日勤	3回	0回	未記入
	遅番・夜勤	5回	0回	未記入
2月20日	早番・日勤	1回	0回	未記入
	遅番・夜勤	4回	0回	未記入
2月21日	早番・日勤	1回	0回	未記入
	遅番・夜勤	3回	4回	未記入
2月22日	早番・日勤	0回	0回	未記入
	遅番・夜勤	1回	0回	未記入

(参考) 調査結果のまとめ - 職員向けアンケート

期間1-1

回答の概要 アクティブ

回答

18

🗨️

平均時間

12:07

🕒

期間

103 日

📅

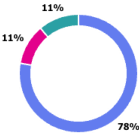
1. 記入日

18
応答

最新の回答
"2025-12-12"
"2025-12-12"
"2025-12-11"
...

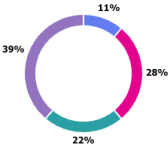
2. あなたの職種: (該当するものにチェック ☑ を入れてください)

- 介護職 14
- 看護師 2
- その他 2



3. 【質問1】現在、入居者の方のトイレ誘導や介助に、どのくらいの「負担」を感じていますか? (身体的な負担だけでなく、頻繁な呼び出しなどの精神的な負担も含みます)

- 非常に負担を感じる 2
- やや負担を感じる 5
- どちらとも言えない 4
- あまり負担に感じない 7
- 全く負担に感じない 0

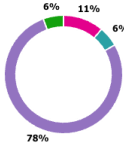


4. 【質問1】現在、入居者の方のトイレ誘導や介助に、どのくらいの「負担」を感じていますか? (身体的な負担だけでなく、頻繁な呼び出しなどの精神的な負担も含みます)

- 非常に負担を感じる 0
- やや負担を感じる 0
- どちらとも言えない 0
- あまり負担に感じない 0
- 全く負担に感じない 0

5. 【質問2】現在、入居者の方がご自身で(自力で)トイレに行けていると感じますか? (職員の声かけや誘導なしでトイレに到達できている割合のイメージです)

- ほとんどの方がご自身で行けていない 0
- 一部の方がご自身で行けている 2
- 半数くらいの方がご自身で行けている 1
- 多くの方がご自身で行けている 14
- ほぼ全員がご自身で行けている 1



6. ご意見・ご要望: トイレ誘導や場所の認識に関して、日頃困っていることや「こうなればいいのにな」と思うことがあれば、自由にお書きください。

8
応答

最新の回答
"職員用で誘導していると両手が塞がるため、開閉のボタンがあれば助かります"
...

5回答者 (63%) この質問にトイレ回答しました。

廊下 トイレ 天井
分りやすいサイン 話 ゴミ箱 施設 案内 困るこ
的な介助を行う機会 質問 備品 同じ色 職員用
認知症 居室 排泄支援用具を捨てる リハビリパンツ 開閉
っている

期間2-1

回答の概要 アクティブ

回答

17

平均時間

10:15

期間

38 日

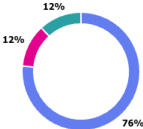
1. 記入日

17
回答

最新の回答
"2026-03-02"
"2026-02-16"
"2026-02-08"
...

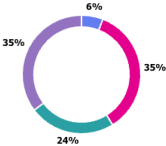
2. あなたの職種: (該当するものにチェック ☐ を入れてください)

- ☐ 介護職 13
- ☐ 看護師 2
- ☐ その他 2



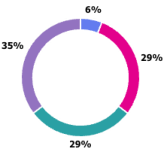
3. 【質問1】現在、入居者の方のトイレ誘導や介助に、どのくらい「負担」を感じていますか? (身体的な負担だけでなく、頻繁な呼び出しなどの精神的な負担も含みます)

- ☐ 非常に負担を感じる 1
- ☐ やや負担を感じる 6
- ☐ どちらとも言えない 4
- ☐ あまり負担に感じない 6
- ☐ 全く負担に感じない 0



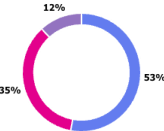
4. 【質問2】現在、入居者の方が「ご自身で(自力で)」トイレに行けていると感じますか? (職員の声かけや誘導なしでトイレに到達できている割合のイメージです)

- ☐ ほとんどの方がご自身で行けていない 1
- ☐ 一部の方がご自身で行けている 5
- ☐ 半数くらいの方がご自身で行けている 5
- ☐ 多くの方がご自身で行けている 6
- ☐ ほぼ全員がご自身で行けている 0



5. 【質問3】新しいトイレサインを設置してから、何か変化を感じましたか? (最も近いもの1つにチェック ☐ を入れてください)

- ☐ 良い変化があった (例:トイレの場所を聞かれる回数が減った、スムーズに入れた等) 9
- ☐ 変化はない (以前と変わらない) 6
- ☐ 悪い変化があった (例:逆に混乱している様子が見られた、臭いによって立ち止まる等) 0
- ☐ わからない 2



6. 【質問4】上記の理由や、具体的なエピソードがあれば教えてください。(例:「〇〇さんがサインを見て自分からトイレに入ってしまった」「色が明るくなって雰囲気良くなった」など、些細なことでも構いません)

9
回答

最新の回答
"居室トイレドアに貼ってあったが、トイレと気が付かれなかった(深夜だったせいもある..."
"誘導されると職員の言い通りに動かれている方が、チラッチラツとマークを見ながら..."
...

6回答者 (67%) この質問にトイレ回答しました。



7. ご意見・ご要望:トイレ誘導や場所の認識に関して、日頃困っていることや「こうなればいいの」と思うことがあれば、自由にお書きください。

3
回答

最新の回答
"水を流すレバーの位置がわかりやすく・昭和初期や大正生まれの方でも洋式のタンク..."
...

期間3-1

応答の概要 **アクティブ**

応答

18

平均時間

15:29🕒

期間

13 

1. 記入日

18
底答

最新の回答

"2026-03-06"

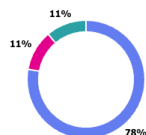
"2026-03-05"

"2026-03-04"

...

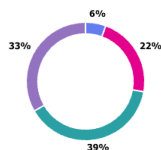
2. あなたの職種: (該当するものにチェック ☐ を入れてください)

- 介護職 14
- 看護師 2
- その他 2



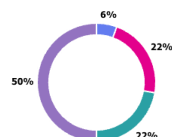
3.【質問1】現在、入居者の方のトイレ誘導や介助に、どのくらいの「負担」を感じていますか？（身体的な負担だけでなく、頻繁な呼び出しなどの精神的な負担も含みます）

非常に負担に感じる	1
やや負担に感じる	4
どちらとも言えない	7
あまり負担に感じない	6
全く負担に感じない	0



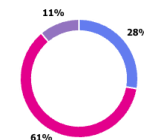
4.【質問2】現在、入居者の方が「ご自身で(自力で)」トイレに行けていますと感じますか？(職員の声かけや誘導なしでトイレに到達できている割合のイメージです)

● ほとんどの方がご自身で行けていない	1
● 一部の方がご自身で行けている	4
● 半数くらいの方がご自身で行けている	4
● 多くの方がご自身で行けている	9
● はば全員がご自身で行けている	0



5.【質問3】今回のトイレサイン(2月に設置したもの)を設置してから、何か変化を感じましたか？(最も近いもの1つにチェック ☐ を入れてください)

● 良い変化があった(例:トイレの場所を聞かれる回数が減った、スムーズに入れた等)	5
● 変化はない(以前と変わらない)	1
● 悪い変化があった(例:泥に混乱している様子が見られた、気にして立ち止まる等)	0
● わからない	2



6. 【質問4】上記の理由や、具体的なエピソードがあれば教えてください。(例:「〇〇さんがサインを見て自分からトイレに入っていった」「色が明るくなって雰囲気良くなった」など。些細なことでも構いません)

10
応答

最新の回答

"切迫感があると、なかなか顔を上げて歩かれない場面にサインを指さし、位置を伝え…"

"トイレの場所を教え安かったから"

5回答者 (50%) この質問にトイレ回答しました。

新規入居 見られる方は 以前 トイレ 場所 必要ない方々 尿意 設置後 習慣づいていない方 デザイン 認知 変化 場面 反応 そうでない方は 切迫感

7. ご意見・ご要望:トイレ誘導や場所の認識に関して、日頃困っていることや「こうなればいいのに」と思うことがあれば、自由にお書きください。

7
底答

最新の回答

"その方その方の誘導で異なるので、これが困るというサインの印方では思いつきませ…"

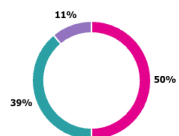
"特にありません。"

3回答者 (43%) この質問にトイレ回答しました。

サイン表示 入居者 トイレ 職員 認識 設え 問題
誘導 収納場所 紙 統一 効果 便器
見栄え的 利用されているこ デザイン

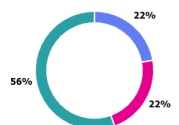
8. 新しいサインの設置後、入居者の方が自力でトイレを見つけやすくなったと感じますか？

● とても思う	0
● そう思う	9
● どちらともいえない	7
● あまりそう思わない	2
● 全くそう思わない	0



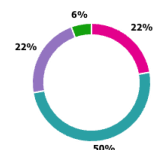
9. 前の質問で「とても思う」「そう思う」と回答した方に質問です。どちらのサインがより助けになっていましたか？

● 1月に設置したサイン	2
● 2月に設置したサイン	2
● どちらも同じ程度	5



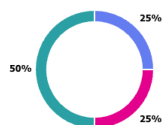
10. サイン設置後、入居者の方をトイレへ誘導する介助の回数が減り、身体的な負担が軽くなったと感じますか？

● とても思う	0
● そう思う	4
● どちらともいえない	9
● あまりそう思わない	4
● 全くそう思わない	1



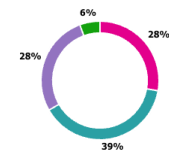
11. 前の質問で「とても思う」「そう思う」と回答した方に質問です。どちらのサインがより助けになっていましたか？

● 1月に設置したサイン	1
● 2月に設置したサイン	1
● どちらも同じ程度	2



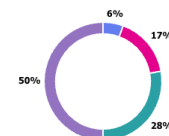
12. サイン設置後、入居者の方をトイレへ誘導する介助の回数が減り、身体的な負担が軽くなったと感じますか？

● とても思う	0
● そう思う	5
● どちらともいえない	7
● あまりそう思わない	5
● 全くそう思わない	1



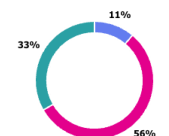
13. 前の質問で「とても思う」「そう思う」と回答した方に質問です。どちらのサインがより助けになっていましたか？

● 1月に設置したサイン	1
● 2月に設置したサイン	3
● どちらも同じ程度	5
● 該当しない	9



14. ① 確認性(気づきやすさ)
遠くからバツと見て、サインがあることに気づきやすいか

● 非常に良い	2
● 良い	10
● 普通	6
● 悪い	0
● 非常に悪い	0



15. 前の質問で「非常に良い」「良い」と回答した方に質問です。どちらのサインがより助けになっていましたか？

● 1月に設置したサイン	3
● 2月に設置したサイン	3
● どちらも同じ程度	6



16. ② 分かりやすさ(直感性)
絵柄や文字を見て、直感的に「トイレだ」と分かるか



17. 前の質問で「非常に良い」「良い」と回答した方に質問です。どちらのサインがより助けになっていましたか？



18. ④ 親しみやすさ(雰囲気)
施設の雰囲気合っているか、怖くないか



19. 前の質問で「非常に良い」「良い」と回答した方に質問です。どちらのサインがより助けになっていましたか？



20. 総合的にみて、今回設置したトイレサインは、入居者の方の自立支援と職員の負担軽減に有効だったと思いますか？



21. 「とても有効だった」「有効だった」の理由を教えてください。

6
応答

最新の回答
"自分で行かれた"
...

3回答者 (50%) この質問にトイレ回答しました。

ため 必要 トイレ 行先
視覚 介助 場所
分からない方

22. どちらのサインがより有効でしたか？



23.「どちらともいえない」の理由を教えてください。

9

応答

最新の回答

"見守りが必要な方の対応は、変わらないところから見ると職員の動力は変わらないと…"
"よくわからなかったからどちらともいえない。"
…

4回答者 (44%) この質問にトイレ回答しました。

メリット
自立されている方は
手助け
認知面
負担軽減
居室
変化
利用者
視覚
トイレ
見守りが必要な方
職員
対応
動力
影響
認知症状
変わらないところ
いう意味合い

24.「あまり有効ではなかった」「全く有効ではなかった」の理由を教えてください。

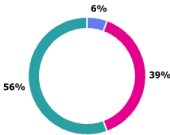
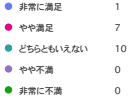
3

応答

最新の回答

…

25. 今回のトイレサインに対する「総合的な満足度」を教えてください。



26.「非常に満足」「やや満足」の理由を教えてください。

8

応答

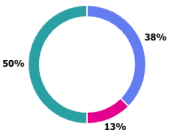
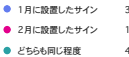
最新の回答

"もう少し、長く見てみないと分かりません"
"自分で行かれた"
…

2回答者 (25%) この質問に 目印回答しました。

目印
トイレ誘導
トイレ入口
教えた通

27. どちらのサインがより満足でしたか？



28.「どちらともいえない」の理由を教えてください。

10

応答

最新の回答

"不満もなく満足もなくどちらとも言えない"
…

2回答者 (20%) この質問にトイレサイン回答しました。

主観的な意見
回答
負担
変わらないため
介助が必要な入居者
トイレサイン
実感
普段
満足
変化

29.「やや不満」「非常に不満」の理由を教えてください。

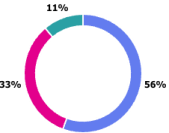
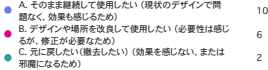
0

応答

0 件の回答が送信されました



30. 今後、これらのトイレサインを選べるとしたら、どうすべきだと思いますか？



31. 前の質問で「A」「B」と回答した方に質問です。どちらのサインを使用したいでしょうか？



32. 自由記述(ご意見・エピソード)調査期間中にあった印象的な出来事(「〇〇さんがサインを見て入っていった」等)や、デザイン・運用への改善案(「もっと大きい方がいい」等)があれば自由にお書きください。

7

応答

最新の回答
"特にありません。"
...

2回答者 (29%) この質問にトイレ回答しました。

有料老人ホーム 自施設 難しい問題
否定的な考え 食堂 トイレ 2月 道具を洗うドア
生活空間 考え方 メリット・デメリット 男性用 場
デザイン 違和感

自由記述コメントの分類リスト（期間1）

第1回（設置前）

ポジティブな変化・エピソード

（事前アンケートのため、該当エピソードの記述はありません）

ネガティブな意見・課題

トイレのドアが周りの壁と同じ色なのでなかなか意識してもらえず、居室から出てきてしまうことがある。

「トイレ」と言いながらトイレの前を素通りされるので、トイレという認識ができていないことがある。

現場からの要望・改善案

共有トイレの場所を聞かれることがあるため、遠くから（廊下や天井などから）見てもわかる案内があれば親切だと思う。

尿取りパットやリハビリパンツなど、排泄支援用具を捨てる場所を把握されていない方が多い。分かりやすいサインをつけ、ご自身でゴミ箱に捨てられるようになってほしい。

職員が誘導していると両手が塞がるため、開閉のボタンなどがあれば助かる。

自由記述コメントの分類リスト（期間2）

第2回（認知症向けサイン設置後） ポジティブな変化・エピソード

「トイレはどこですか？」（設置前）という質問から、「トイレはここですね？」（設置後）に利用者の質問が変わった。

トイレへの案内がスムーズにでき、利用者もイラストを見て「ああ、あそこね」とすぐに理解できていた。

利用者がチラッチラッとマークを見ながら入られる姿が見られ、見やすく認識しやすいと感じた。

食堂の共有トイレについて、文字ではなくデザインで知らせることで、あからさま感がなく見た目的に良いと感じる。

ネガティブな意見・課題

以前からトイレの場所を把握されていた方が多く、大きな変化はないように感じた。

場所の認識だけでなく、排泄そのもののケアを受けられている方が多いため、負担軽減にはまだ繋がっていないように思う。

現場からの要望・改善案

（ハード面に関する要望として）認知機能が低下している方には、タンクのレバーやボタンでの水流し操作が難しくなっている。便器をきれいにするボタンだと認識できる工夫（サイン等）があれば、排泄介助も少し楽になると思う。

自由記述コメントの分類リスト（期間3）

第3回（JISサイン・全体終了後） ポジティブな変化・エピソード

サインを見て「ああ、あそこね」と場所が分かりやすくなり、トイレを聞かれた際にも指差ししやすく、案内のひと手間が少し減った。

介助は必要ないが場所が分からない方や、新規入居の方に対しては、視覚で見てわかるため良い影響を及ぼしていると感じる。

一目で分かりやすい目印は有効であり、トイレ入口が明るくなったように感じた。

ネガティブな意見・課題

自立して行ける方はすでに場所を把握しており、介助が必要な方はそもそも職員が誘導するため、サインの有無で負担軽減の実感（大きな変化）は得にくかった。

尿意の切迫感がある時は顔を上げて歩かれないため、サインを指さして位置を伝えても反応が薄い場面があった。

食堂のトイレの横に道具を洗うドアがあり、サインのせいで「左のドアが男性用、右のドアが女性用」と勘違いされたことがあった。

入居者が「職員・来客用トイレ」に入ってしまう問題について、分かるように掲示はしているものの効果が見られず利用されてしまうことがある。

個人的な意見として、「トイレ」と分かる表記を生活空間（有料老人ホーム）に大々的に表現することに違和感があり、否定的な考えもある。

現場からの要望・改善案

トイレだけでなく、ちょっとした物の場所や収納場所などの統一に活用できるようなデザインがあれば、単なる貼紙より見栄え的に良いと思う。

実際に使用する場合は、有料老人ホームという場に合ったデザインで、なおかつ分かりやすいしっかりしたものになれば良いと思う。

トイレの認識を高めるアプローチとして、サインだけでなく「壁紙と便器の色を極端に変える」というアイデアにも興味がある。